

2019年度 Aセメスター「物質科学概論」講義日程

テーマ：物質科学が解くべき12の問い

趣 旨：

物質科学研究は素粒子，原子・分子，細胞，生体といった対象の多様性に加え、研究の切り口も多種多様である。そこでは研究者の感性により適切な問題設定がなされ、様々なアプローチによって新たな発見が得られてゆく。物質科学概論では、12名の研究者が物質科学において解くべき問いを概説し、いかに問題を解決してゆくか物質科学研究の最先端をオムニバス形式で紹介する。

時 限：月曜5限

場 所：16号館109講義室

日 程

	月 日	講 師	タ イ ト ル
1	9月30日(月)	奥野将成	溶液や界面の分子をどう“観る”か？
2	10月7日(月)	塩見雄毅	磁石を使って何ができるか？ 磁性の基礎と応用
3	10月21日(月)	横川大輔	理論化学は我々に何を与えてくれるのか？
4	10月28日(月)	上野和紀	二つの材料をくっつけたとき、その中の電子はどのようにふるまうのか？ 物質の界面と半導体デバイス
5	11月7日(木)	小島達央	弱い分子間相互作用だけで、安定な分子集合体を作れるか？
6	11月11日(月)	野口篤史	原子を並べて固体を作れるか？
7	11月13日(水)	角野浩史	現在の地球における様々な元素の分布は、どのようにしてできたのか？
8	11月18日(月)	加藤雄介	室温超伝導は実現するか？
9	11月25日(月)	寺尾潤	有機分子で電子回路を作れるか？
10	12月2日(月)	柳澤実穂	物質から生きた細胞を作れるか？
11	12月9日(月)	長谷川宗良	強い光を分子に照射すると何が起こるのか？
12	12月16日(月)	松田恭幸	ミューオンのなぞ
-	12月23日(月)	(予備日)	—

成績評価の方法：

各教員から出題される計12の課題のうち3つを選択し、レポートを提出すること。

提出期限は各教員が定める。

提出レポート数が3に満たない場合は単位認定の対象とならない。